

REMARKS

The listed documents were cited in a Japanese Office Action issued on a counterpart Japanese application corresponding to the above-referenced application. The Office Action was mailed on April 13, 2004. A copy of the Office Action is enclosed, together with an attached English translation of the Office Action.

English Abstracts are enclosed for the Japanese documents. In addition, the '325 and '361 documents both correspond to U.S. Patent No. 5,714,967 and the '475 document corresponds to U.S. Patent No. 6,229,561.

CONCLUSION

It is respectfully requested that the above information be considered by the Examiner and that a copy of the enclosed Form PTO-1449 be returned indicating that such information has been considered.

Applicant submits that no fee is required. However, the Commissioner is authorized to charge any deficiency in payment to Deposit Account No. 06-1205. A duplicate copy of this paper is enclosed for that purpose.

Applicant's undersigned attorney may be reached in our Washington, D.C.
office by telephone at (202) 530-1010. All correspondence should continue to be directed
to our below listed address.

Respectfully submitted,

A handwritten signature in black ink, appearing to read 'B. L. Klock', written over a horizontal line.

Attorney for Applicant
Brian L. Klock
Registration No. 36,570

FITZPATRICK, CELLA, HARPER & SCINTO
30 Rockefeller Plaza
New York, New York 10112-3800
Facsimile: (212) 218-2200
BLK/lmj

特許出願の番号 特願2000-326753
起案日 平成16年 4月 6日
特許庁審査官 三橋 健二 9412 2X00
特許出願人代理人 高梨 幸雄 様
適用条文 第29条第2項、第29条の2

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

理 由 1

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物に記載された発明に基づいて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 : 1-19
- ・引用文献 : 1, 2
- ・備考

本願の1-19に係る発明は、引用文献1または2に記載されたものと大差ない。照明手段として発光体アレイや、面光源と空間変調素子を用いることは、この分野では周知である。

理 由 2

この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願の日前の特許出願であって、その出願後に出願公告(特許掲載公報の発行)又は出願公開がされた下記の特許出願の願書に最初に添付された明細書又は図面に記載された発明と同一であり、しかも、この出願の発明者がその出願前の特許出願に係る上記の発明をした者と同一ではなく、またこの出願の時において、その出願人が上記特許出願の出願人と同一でもないので、特許法第29条の2の規定により、特許を受けることがで

きない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項 : 1 - 1 9
- ・先の出願 : 9
- ・備考

本願の請求項1 - 1 9に係る発明は、出願3の当初明細書または図面に記載されたものと同じ、あるいは、実質的に同一である。

引 用 文 献 等 一 覧

1. 特開平08-211325号公報
2. 特開平07-311361号公報
3. 特願平11-217574号 (特開2001-042257号)

先行技術文献調査結果の記録

- ・調査した分野 IPC第7版 G02B 27/02, G02F 1/13
- DB名 -
- ・先行技術文献 -

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関するお問い合わせ、または面接のご希望がございましたら下記までご連絡下さい。

記

特許審査第1部光デバイス(光制御) 三橋

TEL. 03(3581)1101 内線3253 3255

FAX. 03(3580)6902